

□全国学力調査・・・結果の公表を受けて

昨年度に引き続き4月22日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。山口県でも、小中学生約2万5000人がこの調査に参加し、国語・算数（数学）の2教科（それぞれに基礎・知識を問うA問題と活用・応用力を問うB問題の2種類）と生活習慣などのアンケートに答えました。報道発表もされていましたが、全国と山口県の公立学校の正答率は次の通りです。

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
全国公立	65.4%	50.5%	72.2%	51.6%	73.6%	60.8%	63.1%	49.2%
山口県	63.4%	47.5%	69.2%	48.7%	74.2%	60.7%	63.3%	50.0%

小野田中学校については正答率が非常に伸びているということで、県の教育委員会から「どのような取組をして成績が伸びたのか、他校の参考にしたいので報告してほしい」という誇らしい依頼がありました。モジュール学習の成果もあって、基礎的な知識については確実に身につけてきているようです。

もちろん生徒達の努力・頑張りが一番の理由でしょう。ただ、その努力や頑張りを支える規則正しい生活習慣、学習意欲を向上させる各家庭での働きかけが土台となって大きく影響していることは間違いありません。各家庭や地域からの御支援に対し厚く感謝申し上げます。優秀な成績を収めた他県の生活調査を見ても、塾に通っているかどうかは成績に大きく関係していません。それよりも規則正しい生活習慣や家庭学習への取組、豊かな心の醸成や温かい友人関係づくりが大切なのです。

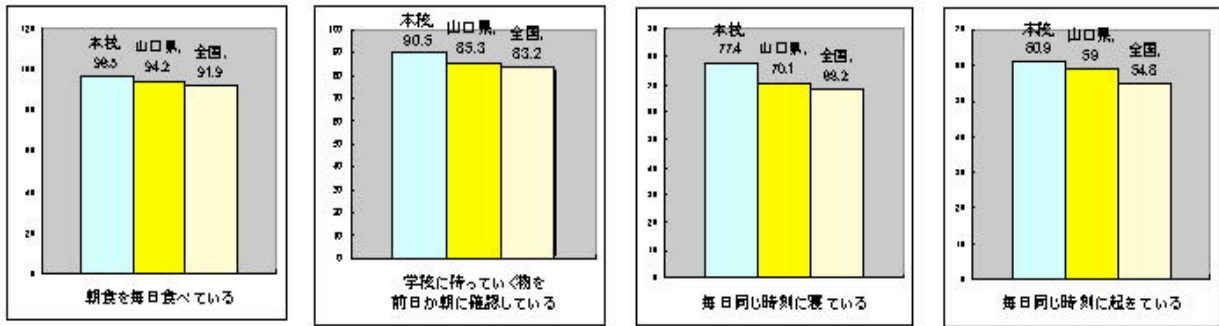
しかしながら、応用問題には課題があるようです。さらに、基礎・基本の習得の徹底を推し進めるとともに、身に付けた基礎的・基本的な知識を活用して、難しい応用問題にも粘り強く取り組み、あきらめずに最後まで答えを書く力を身に付けさせること、これが今後の本校の課題であると感じます。

この課題に対して今後小野田中学校では、以下のような取組を進める予定です。

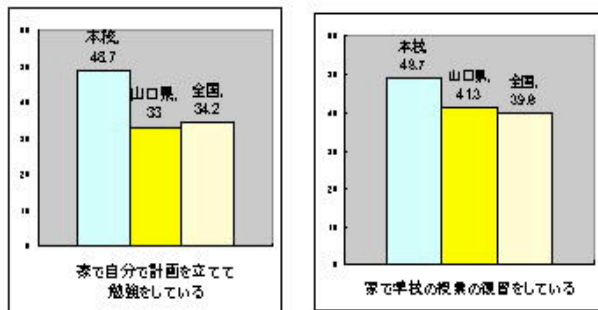
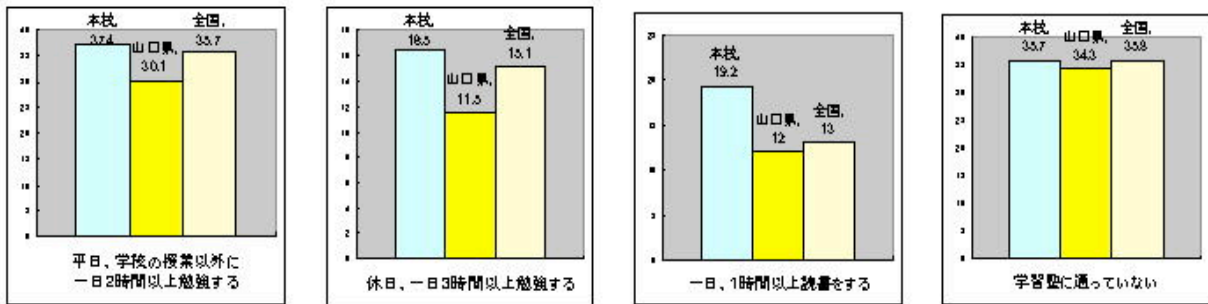
- モジュール授業、反復学習等を推進し、基礎・基本の徹底を図ります
- 放課後等を利用して、補充学習を実施します
- 授業評価や学校評価を参考にしながら、授業改善を進めていきます
- 道徳や特別活動、体験的な学習などを充実させていきます
- 学校の様子を公開し、情報を発信していきます

これらの取組が本校生徒の健全育成、学力向上に効果的につながるよう、これまで以上に各御家庭からの強力なバックアップをぜひお願いいたします。

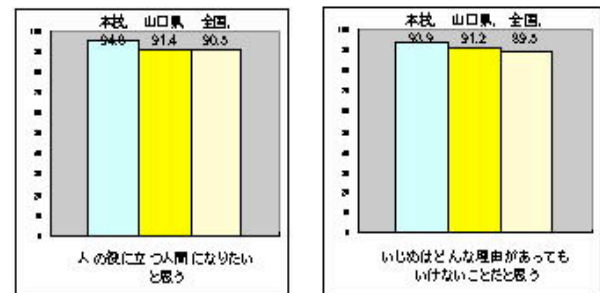
規則正しい生活習慣がしっかり身につけている生徒が増えています



塾通いではなく、復習中心に家庭学習が充実しています



温かい心の持ち主も増えています



豊かな心が育っています

